

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587010503	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	b5国際社会と日本経済COC / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山岡 時生 / yamaoka tokio, 徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山岡 時生 / yamaoka tokio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山岡 時生 / yamaoka tokio		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tokio.yamaoka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館624号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	(メールでアポ対応しますが片淵ですので) 授業前後に質問してもらえれば対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済のグローバル化が進展する中、企業は日本経済のみならず世界経済の状況を勘案して活動していく必要があります。本講義では、日本の貿易構造の変化、国際経済問題が日本に与える影響及び直面する課題を国際機関等の活動を通じて概観し、それら課題について長崎県を含めた地域社会の今後の課題について考察します。		
授業到達目標/Course goals	国際経済に係る基礎的素養及び幅広い知識を身につけ、国際経済に関するニュースの概要の理解などによりその最新の動きを把握し、それら素養と知識を駆使した思考方法・素養を身につけるため、国際経済が直面する最新の課題について自らの考えを説明できるようになることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義の前半：講義資料により、基礎的事項、問題背景等を説明します。 講義の後半：講義内容に応じて少人数で課題について議論し、それについての意見をとりまとめて発表、講義内容に関する小レポートの作成に取り組んでもらいます。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前にLACSに掲載する授業のパワーポイントを読み、知らない用語等基本的事項は調べておくこと (2h)、また事後には授業での説明・議論を踏まえたレポートを提出することを課します。		
キーワード/Keywords	グローバル化、貿易自由化・保護貿易、食料安全保障、環境保護、知的財産保護、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。毎回の講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	経済のグローバル化が進展する中、地域経済を含めた日本のあり方について共に考えたく思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	教員は財務省税関より出向中。国際機関 (UNCTAD) や在外 (在ベルギー大使館、米国プリンストン 大学) での経験が豊富であるため、WTO・EPAを含めた国際貿易・交渉の実態や税関における実務問 題も踏まえ講義します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1・2回	イントロダクション、貿易概況等
第3・4回	ブレトンウッズ体制、国連
第5・6回	貿易自由化と保護貿易
第7・8回	途上国と援助
第9・10回	環境問題等
第11・12回	知的財産権の保護
第13・14回	食料・エネルギー安全保障
第15・16回	長崎経済の課題、講義全体のまとめ、定期試験 (注) 講義内容は前後することがあります。また、一部講義で外部専門家による講義を検討中です。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587011702	科目番号 / Course code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Course title	b5社会制度と経済活動 / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松木 佑介 / Yusuke Matsuki, 徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymatsuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所207		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義初回に通知する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養レベルのミクロ・マクロ経済学のうち、ミクロ経済学を中心に講義する。本講義は経済学入門として位置づけられる。		
授業到達目標/Course goals	需要曲線と供給曲線を用いた均衡分析やGDPなど経済学の基本的概念や分析手法を理解して、市場や政策の評価や、政府や制度のあり方について議論ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 (50%) と授業での貢献 (50%) による。さらに発言やレポートの内容などを追加的に考慮する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習: テキスト・講義資料の関連箇所を読み分らない箇所を明確にしておくこと。(2h) 復習: テキスト・講義資料を再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: スティグリッツ (2012) 『スティグリッツ 入門経済学 第4版』(藪下史郎ほか訳) 東洋経済新報社		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	講義資料はすべてLACSにアップロードするので、初回講義の前日までに必ず履修登録を済ませておくこと。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス ; 現代の経済学
第2回	現代の経済学
第3回	経済学的な考え方 : 基本的競争市場
第4回	経済学的な考え方 : 費用概念
第5回	需要、供給、価格 : 需要と供給
第6回	需要、供給、価格 : 均衡
第7回	需要・供給分析の応用 : 弾力性、課税
第8回	需要・供給分析の応用 : 弾力性、政策介入
第9回	市場と効率性 : 余剰
第10回	市場と効率性 : 市場の効率性
第11回	不完全市場入門 : 市場の失敗1
第12回	不完全市場入門 : 市場の失敗2
第13回	マクロ経済学 : ミクロ経済学的アプローチ1
第14回	マクロ経済学 : ミクロ経済学的アプローチ2
第15回	マクロ経済学 : ミクロ経済学的アプローチ3

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587012103	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	b5経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館5階508室		
担当教員TEL/Tel	経済学部研究室 6-373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>企業活動の目的は利益を獲得することである。しかし、利益の額は、計算してみなければわからない。ここに会計の主観性があり、これを秩序立てるために制度がある。この講義では、営利目的の企業を対象に、日本の会計制度の概要、会計情報（財務諸表）に記載される主な項目の意味と会計情報の簡単な見方を説明する。財務会計や管理会計のみならず国際会計まで主要な分野についても簡単に説明する。</p> <p>なおCOC+に対応するため、長崎県内の企業の例を取り上げることとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会計の基礎知識（損益の意味、財務諸表に掲載される主な項目の意味等）を自ら学び、考えるための基盤を身につける 2. 会計に関連する基礎的な用語、会計学の基盤的知識を習得する 3. 会計学の知識に基づいて長崎県内企業等の財務諸表を大まかに読むことができる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループ学習の貢献（プレゼンテーションや関連事項の調べ等） 50%、 テスト（またはレポート）、講義内容に応じた課題について小レポートの作成・提出 50%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>各回について、授業内容の理解と発表の為に、事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行うこと。知らない基本用語等は調べておくこと。(2h)</p> <p>またディスカッションには積極的に参加すること。</p> <p>講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習をすること。(2h)</p> <p>また、第1回目の講義で指示するが、各自がダウンロードした財務諸表（金融機関を除く）も教材とするので、PCまたは印刷媒体で毎回持参すること。</p>		
キーワード/Keywords	会計情報、財務諸表の主な項目（資産、負債、純資産（資本）、収益、費用の意味など）、日本の会計制度（会社法、金融商品取引法、法人税法）、簡単な経営分析、長崎関連企業		
教科書・教材・参考書/Materials	<p>教科書：霧日出郎・山口幸三編著『はじめまして会計学』中央経済社、2019年</p> <p>参考書：永野則雄『ケースでまなぶ財務会計（第8版）』白桃書房、2018年</p>		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	経営や会計に広い関心を持ち、これらの分野の基礎知識の習得意欲を持つ者、自発的・積極的に学習を進めていく姿勢のある者の受講を希望する。また、新聞やネットに掲載される日々の経営に関するニュースに耳を傾ける努力を怠らないようにしてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション 会計を学ぼう
第2回	財務諸表概論
第3回	簿記 決算をやってみよう
第4回	貸借対照表の構造
第5回	損益計算書の構造
第6回	財務諸表の分析
第7回	財務諸表の分析
第8回	原価計算
第9回	業績管理会計
第10回	意思決定会計
第11回	税務会計
第12回	監査制度
第13回	国際会計
第14回	コンピューター会計
第15回	全体のまとめ
第16回	全体の総括（定期試験）